

# 研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

高齢心不全患者の安静度拡大後の日常生活援助の強化による入院関連機能障害予防の取り組み

## 1. 研究の対象および研究対象期間

研究対象期間：2024年6月1日から2024年12月31日迄

研究の対象：上記期間に、昭和大学横浜市北部病院8B病棟(循環器病棟)へ心不全の診断で入院された70歳以上の患者さん。

## 2. 研究目的・方法

### < 研究の背景 >

当院の8B病棟では、入院された高齢の心不全患者さんの特徴や、入院される前の生活を十分に理解した日常生活に係る看護ケアが十分に行えておりませんでした。そのため、入院の原因となった心不全の治療に伴い、ベッド上で安静に過ごしていただく期間が長引くことで、心や体の機能低下を起すことがありました。こうした入院を原因とした心や体の機能の低下を「入院関連機能障害」と呼びますが、入院中に入院関連機能障害を併発することで、入院期間がさらに長期化するという問題も生じています。また、一般的に、入院中に心身の機能低下が生じた高齢の心不全患者さんの予後は悪いとされています。そのため、治療上必要な安静や休息時間を保ちつつ、バーセルインデックスを用いた日常生活動作の評価を行いながら、患者さん一人一人に合った日常生活上の看護ケアや援助を行って患者さんの心身の機能を維持する取り組みが重要になります。しかしながら、高齢の心不全患者さんだけに焦点を当てた研究は少なく、入院内関連機能障害予防のための具体的な取り組みについては明らかにされていません。

### < 目的 >

高齢の心不全患者さんの入院関連機能障害を予防するための有効な取り組みについて、検証します。

### < 研究の方法 >

歩く・階段を上る・着替える・洗面する・食事をする等、日常生活を営む上での心身の機能を観察して、患者さんの入院前(今回の入院につながった心不全症状が悪化する前の段階)のバーセルインデックス値と、入院中の治療経過に伴うバーセルインデックス値の変化、および退院時のバーセルインデックス値を確認していきます。さらに、このバーセルインデックスの数値とあわせて、ご入院期間中のリハビリの実施状況、具体的な看護ケアの実践状況についてもカルテ記録から調査します。

**3 . 研究期間**

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025 年 7 月 31 日まで。

**4 . 研究に用いる試料・情報の種類**

患者背景（性別、年齢、診断名、入院日、転入日、転棟日、退院日、入院期間、転帰、入院時入院形態、治療内容）、入院時・入院中・退院時のバーセルインデックス値、護計画、看護記録、リハビリ記録、診療録

**5 . 外部への試料・情報の提供**

該当いたしません。

**6 . 研究組織**

研究責任者 昭和大学横浜市北部病院 看護部 坂本 聖

**7 . お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 看護部 氏名：坂本 聖

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35 - 1 電話番号：045 - 949-7648